

大学概要

愛知県長久手市岩作三ヶ峯 1 - 114  
電話 : 0561-76-2491  
URL : https://www.aichi-fam-u.ac.jp

■専任教員数 (2024年5月現在)  
教授 47人、准教授 35人、講師 6人  
■学生数 (2024年5月現在)  
学部 美術学部 407人、音楽学部 383人  
大学院前期課程 美術 81人、音楽 66人  
大学院後期課程 美術 14人、音楽 10人

■学部  
美術学部  
日本画専攻、油画専攻、彫刻専攻、芸術学専攻、デザイン専攻、陶磁専攻、メディア映像専攻  
■音楽学部  
作曲専攻 (作曲コース、音楽学コース)、声楽専攻、器楽専攻 (ピアノコース、弦楽器コース、管打楽器コース)

■大学院  
美術研究科博士前期課程・美術研究科博士後期課程、各1専攻 (美術) 6研究領域・分野 (日本画、油画・版画、彫刻、芸術学、デザイン、陶磁、メディア映像※2026年4月開設予定)  
音楽研究科博士前期課程・音楽研究科博士後期課程、各1専攻 (音楽) 6研究領域・分野 (作曲、音楽学、声楽、鍵盤楽器、弦楽器、管・打楽器)  
■施設・研究所等  
法隆寺金堂壁画模写展示館、室内楽ホール、奏楽堂、地形劇場、芸術資料館  
■学外施設  
サテライトギャラリー SA・KURA (名古屋市中区東桜 1-9-19 成田栄ビルB1F)

は遠く、一般市民への存在感が薄いことは否めません。  
白河 ええ、もう少し表に出さなくちゃいけないと、今いろいろやっているところですが、今後このキャンパスから移動はしないでしよう。県有地の森の中にあるということだけでなく、この建物は、シンボリックな講義棟をはじめ主要なものが吉村順三という有名建築家の作品だからです。  
もちろん時代と学生のニーズに合わせて新しい建物も建てています。新しい音楽棟が2013年にでき、14年に文化財保存修復研究所、19年にデザイン棟、同年に栄・NHK放送センタービルの北に位置するビルにサテライトギャラリーを設けました。そして22年、映像分野への社会の関心の高まりや、地域の意向などを踏まえ、様々なメディアや映像に通じた表現を新たなイメージで創造できる人材の育成を目指す。

指したメディア映像専攻が設置され、そのスタジオ棟もできました。さらに24年春には新彫刻棟がオープンしています。  
—— 貴学では今、「芸術の力でつながる」を掲げていますね。  
白河 僕が学長に就任した昨年春から、今までにない動きを始めています。栄のサテライトギャラリーについてもこれまで広報が行き届いていなかったのですが、そのテコ入れも課題の一つになっていますが、基本は、本学としての特色をどう出し、「社会」とつながっている部分をどうしていくか。「この森の中で勉強しているけど、社会や世界とつながれるんだよ」と、見える化していくことが大きな課題です。  
うちの大学には音楽と美術があり、音楽の方は定期オーケストラやオペラをやっているな

# 大学 新時代 2025

## 愛知県立芸術大学 学長 白河宗利



# 豊かさと幸せをもたらす 芸術の社会実装を目指して

高度経済成長期ただ中の1966年、産業経済で著しい発展を遂げていた愛知県が、東西の中間であるこの地に特色ある文化圏を築こうと開学したという愛知県立芸術大学。以来約60年にわたり多くの才能を育ててきた同大学は、昨春就任した白河学長の下、“芸術の力”で社会や世界とつながるための意欲的な試みを始めている。

—— 貴学は全国でも数少ない公立の芸術大学であり、広大な森の中にあるという素晴らしい環境ですね。

白河 「国公立五芸大」という言い方を僕はしません。そのうち東京藝術大学だけが突出していますけど、うちはその次に位置する公立芸大といわれており、卒業生には画家の奈良美智氏がいるなど、世界的なアーティストがこの森の中から出ています。また、先生と学生の距離が近く、芸術的な環境の中で行っている個人指導中心のカリキュラムは、たぶん全国一と言っているでしょう。

—— それほど教授陣に対しての生徒数が少ない教育体制だと。

白河 学部全体で約800人しかいないんですよ。例えば美術学部の入学定員でみると、日本画は1学年10人、油画25人、彫刻10人、芸術学5人、陶磁10人といった具合。これに教授陣は油画だったら10数人います。もちろん音楽学部の方も同じです。講義室を使った講義形式の授業もありますが、ここには実技試験を突破した人が入ってきますので、入学した瞬間から専門教育に入って研鑽していくことになりま。また大学院も博士前期・後期課程を含めて200人ほど。つまり、一山全部使っている広大なキャンパスに、1000人しか学生がいないということです。

—— そうした環境の裏返しで、市街地から



2024年11月17日に愛知県芸術劇場コンサートホールで行われた「愛知県立芸術大学管弦楽団 第35回定期演奏会」

ど、外で発表するいろんな機会はこれまでもありましたし、デザイン系だったら企業とつながる機会をさらに強化していかなくちゃいけないでしょう。でも、大学としての予算全体は変わらないですから、外とつながる部分を充実させようとして、本体の教育・研究が細ってしまうと、大学の魅力がなくなってしまうと、そのバランスをどう取っていくか、ですね。

—— 解決の道筋は見えましたか？

白河 社会連携とか、芸術の力を社会に伝えるということ、学内ベンチャー的な組織をつくることで、もう少し効率的に社会とつながる活動を回そうと考えています。

ルーティーンで行っている定期オケ、弦楽台



芸術にいそしんでいる理系の研究者は、研究だけしている人よりも優れた研究ができています。これは芸術の力の証明にもなると思います。

会社の中に絵を飾ろうかとか、もちろんそれが第一歩なんですけど、そうではなく、もっと本当の意味での社会実装が芸術にはできるんです。たとえば自殺しようとしている人が、たまたまある絵を見たことで、自殺をやめるかもしれない。すごい音楽を聴いて、生きる力を得るかもしれない。そうしたことの数値化はできませんが、本当は一つ一つの芸術との出会いの中に、そういうものがあるはず。そうしてセンスみたいなものも磨かれていった中で、人間って豊かになり、幸せになるわけですよ。その中には芸術的素養が必ずあるものです。

「君たち頑張りなさい」で済んでいましたが、情報化社会の今は、不安過ぎてアーティストになりたくないという層が増えてきたことは確かなんです。そこで、税制のこととか、展覧会の作り方とか、自己アピールの仕方、先輩たちがどうやってきたかなどを総合的に教えていく講座を開いていこうと考えています。

## 芸術は社会実装できる

—— 企業や一般市民に伝えたいことは。  
 白河 昨今、「芸術は世の中の役に立つのか」ということが、以前よりも問われていると思うんです。

社会の中に「床の間」があるとしたら、芸術ってそういう「特別な場所」に置かれていて、そこで「特別な人たち」がやるものみたいな意識が、日本人の中にはちょっと多いのではないかなと思うのです。でも芸術って本当は、みんなの生活の中に入って、社会実装できる部分があると思うんです。

—— 芸術や音楽を楽しむというわかりやすいことだけでなく？

白河 最近の言葉で、「アート思考」というものがあります。アーティスト、芸術の考え方を企業が採用していくってことで、0→1の発想が生まれイノベーションが起こるんじゃないか、というのが「アート思考」なんです。日本ってイノベーションが起こりづらいんですよ。すごいアイデアを持った若手社員が「これをやりたい」と課長に進言しても、その課長が部長に報告する時にヒビッて角をとってしまふ。部長がその上に報告する時には、もう原案のカタチではない状態になっていることでしょう。かといって、最初のカタチそのまま吸い上げるだけのパワーが社長にある会社って少



美術学部デザイン・工芸科に2022年度から設置されたメディア映像専攻の施設として作られたメディア映像スタジオ棟

## 種を芽吹かせるために

—— 巣立っていく学生を取り巻く環境の変化は。

白河 デザイン系のコースの学生などは企業に就職もしますが、ファインアート系、つまり日本画、油画、彫刻などの作品をつくり、本当にその道を目指している人たちは、あえて就職しません。そうした彼らに「芸術家になるにはどうしたらいいか」を、大学が教えなくちゃいけない時期に来ています。

昔は、よくわからないけど30歳くらいまでにちゃんとした展覧会を開けるようになりたいとか、いい意味でも、悪い意味でも、アタックしていきまして、大学側も「そういうものだから、君たち頑張りなさい」



▲建築家・吉村順三の作品である講義棟



▲2024年4月に完成した新・彫刻専攻棟

ない。市場調査とかをして、ロジカルに組み上げていくのは得意でしょう。そうではなく、画家が絵を描くみたいに、あるいは作品をつくるみたいに、社員が本当にやりたいこと、つくり出したいことができる体制にならないと、イノベーションはなかなか起こせません。

—— 突飛と思われる発想でも受け止められる度量が求められますね。

白河 ノーベル賞受賞者の90%以上がアート活動に関わっているんですよ。これってすごいんですか？ アートに興味を持っている科学者のほうが、そうでない科学者よりも2・85倍の割合でノーベル賞を受賞している。つまり、

それと、昨年10月には名古屋中ロタリークラブが創立55周年記念事業として協力してくれたことで、「こども愛知芸大」という大学で子どもたちに芸術教育プログラムを実施するイベントを行いました。今は、学校での図画工作や音楽の時間って減っているんです。それでも本格的な美術や音楽をやりたい子って一定数いますから、そういう子たちうちの教授陣が直接教えるという企画でした。

—— 毎年定期的に行われていけると素敵ですね。

白河 そういったことも新しく設ける組織で回せないかなと考えています。「愛知芸大がここにあつて、こんな面白いことをやっているんだよ」と、もう少し次の世代にアピールしていかなくちゃいけない。これも課題です。

—— 白河学長が就任されたことで、大きな節目が来ているようです。

白河 そうでしょうね。今までの学長って、もつと経験豊富な先生が就任することがほとんどでした。でも今回、若い学長となったことは、学内からの「変えろ」というメッセージだと受け止め、取り組んでいます。とはいえハレーションを起こすほどやり過ぎると組織が回らなくなってしまうので、そこは気を付けながら、でも、ちょっとはいたすらもしながら、トライ＆エラーでやっていきます。

—— ありがとうございます。